

『保護者と学校のよりよい関係づくり』
第1部「信頼関係づくりの基本姿勢」

2 基本姿勢その2 相手の思いを感じ取る



信頼関係づくりの基本姿勢 その2 「相手の思いを感じ取る」

私たちが保護者の方と直接かかわる機会には、さまざまな場面が想定されることと思います。

面談等、約束をしてお会いする場合もあれば校内、校外、さまざまな場所で偶然お会いしてかかわる場合もあることでしょう。

そのような機会に私たちが大切にしていけるとよいことには、どんなことがあるのでしょうか。

今回は 基本姿勢その2として、
「相手の思いを感じ取る」 ことについて研修しましょう。

2 基本姿勢その2 相手の思いを感じ取る

**演習：①動画視聴
②シート記入
③ペア・グループで話し合い**

○保護者からの声かけにどんな応答をするか
考えてみましょう

ではこれから、演習を行います。

まずはじめに保護者の方から声をかけられる場面の短い動画を見ていただきます。

皆さんは、声をかけられた教師になったつもりでこの場面で、自分ならどのような言葉を返すのかを考えながら見てみましょう。

そして動画が終わったあとに、どんな言葉を返すかをシートに記入し、それをもとに話し合いをします。

動画は全部で3種類あります。それではご覧ください。

2 基本姿勢その2 相手の思いを感じ取る

<場面A>

担任している松江城二さんのお母さんに、校外でばったり出会った。城二さんの最近の学校での様子は特に変わったことはなく、落ち着いて学校生活を送っているように見える。

○城二さんの母親にまずどんな言葉を返しますか

<場面A>

担任している松江城二さんのお母さんに、校外でばったり出会った場面です。城二さんの最近の学校での様子は特に変わったことはなく、落ち着いて学校生活を送っています。



<動画再生>
松江城二母親
(約7秒)

動画再生 (約7秒)

2 基本姿勢その2 相手の思いを感じ取る

<場面A>

担任し
ばったり
は特に変
送ってし



スライドは
一旦停止を

校外で
の様子
生活を

○城二さん



では、この場面で、城二さんの母親に、どんな言葉を返すかを考えて、シートに記入しましょう。

やりとりのすべてを書く必要はありませんので、まず最初にどんな言葉で応答するのかについて、考えて記入してみてください。

記入が終わったら、その内容について話し合ってみましょう。記入と話し合いの時間、話し合いの人数について、進行役の指示を聞きましょう。スライドは一旦停止してください。

※停止マークが表示されたら、PCでビデオファイルの一時停止操作を

【研修担当者】

- ビデオファイル一時停止操作し、受講者へ以下の3点を指示
 - ①個人でシートを記入する時間について
※めやす：1分～2分（受講者の様子を見て調整してください）
 - ②話し合いの人数やペアリングについて
※めやす：2人～4人
※若手どうし、若手とベテラン、学年部、ランダムに 等
（実態に合わせて調整してください）
 - ③話し合う時間について
※めやす：2分～（受講者の様子を見て調整してください）
- 話し合いが終わったところで、ビデオファイル一時停止解除

では、これから、この場面での応答の例を2つの動画でごらんいただきます。



<動画再生>
松江城二担任 その1
(約7秒)

動画再生 (約7秒)



<動画再生>
松江城二担任 その2
(約10秒)

動画再生 (約10秒)

2 基本姿勢その2 相手の思いを感じ取る

<場面A>

担任している松江城二さんのお母さんに、校外でばったり出会った。城二さんの最近の学校での様子は特に変わったことはなく、落ち着いて学校生活を送っているように見える。

○城二さんの母親にまずどんな言葉を返しますか

いかがでしたか。

では、この二つの応答の違いについて、振り返ってみましょう。

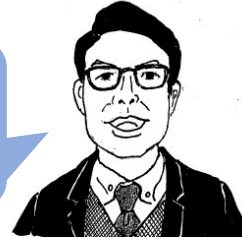
ご覧いただいた応答は、あくまで一例です。

どちらが悪く、どちらが良いというものではありませんし、この他にもさまざまな応答の仕方が考えられることでしょう。



うちの子、最近学校で
どんな様子ですか？

特に変わった様子
はないですよ。



学校での子どもの様子
聞かれた事柄に焦点を当てた応答

最初の動画では、我が子が学校でどんな様子かと尋ねる母親に対して、担任は「特に変わった様子はないこと」「落ち着いて学校生活を送っていること」を伝えていました。
これは「学校での子どもの様子」に焦点を当てた応答であるといえます。
担任は聞かれた事柄に対する応答のみをしたこととなります。



うちの子、最近学校で
どんな様子ですか？

何か気になることが
ありますか？



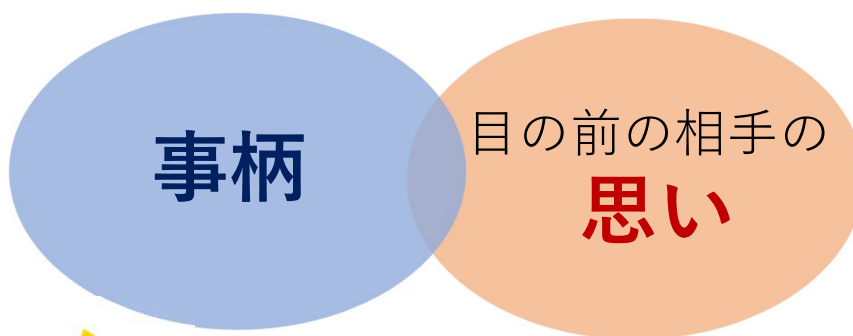
子どもの様子が気にかかっている
母親の思いにも焦点を当てた応答

それに対して二つ目の動画では、「特に変わった様子はないと感じている」というお伝えだけで終わらせずに、さらにもう一言、母親に対して、「何か気になることがありますか」という問いかけをしていました。

これは「子どもの様子が気にかかっている」という母親の気持ちの方にも焦点をあてた声かけであるといえます。

偶然出会った場面で、わざわざ保護者のほうから声をかけてこられたという「行動のその背景にあるものが何か」をわかろうとしてかかると、このような応答ができるのではないのでしょうか。

2 基本姿勢その2 相手の思いを感じ取る



Hint “何”に焦点を当てるか

相手に言葉を返すときに、私たちの意識が「何に焦点をあてているか」によって、出てくる言葉は変わってくるものです。

聞かれた事柄に対する応答はもちろん大事です。それに加えて、目の前の相手の「思いや気持ち」を感じ取り、そこに焦点を当てた声かけを付け加えることができると、話の広がりや方向性が変わってくるということがあるようです。

「何か気になることがおありですか？」という応答がきっかけとなり、「実は・・・」と、母親は自分が気になっていることや心配している事を話し出されることがあるかもしれません。

では、「目の前の相手の思い」を意識しながら、次の場面の動画を見てみましょう。

2 基本姿勢その2 相手の思いを感じ取る

<場面B>

P T Aのあいさつ運動の当番日に、担任している石見銀人さんのお父さんとたまたま一緒になった。当番活動を終えたあと、銀人さんのお父さんの方から、話しかけられた。

○銀人さんの父親にまずどんな言葉を返しますか。

<場面B>

P T Aのあいさつ運動の当番日に、担任している石見銀人さんのお父さんと、たまたま一緒になりました。当番活動を終えたあと、銀人さんのお父さんの方から、担任に話しかけてこられた場面です。

では、動画をご覧ください。



<動画再生>
石見銀人父親
(約70秒)

動画再生 (約70秒)

2 基本姿勢その2 相手の思いを感じ取る

<場面B>

P T A
石見銀人
当番活動
ら、話し



スライドは
一旦停止を

ている
った。
の方か

○銀人さん



では、この場面で、銀人さんの父親に、どんな言葉を返すかを、先ほどと同じように考えてみましょう。

※停止マークが表示されたら、PCでビデオファイルの一時停止操作を

【研修担当者】

- ビデオファイル一時停止操作し、受講者へ以下の3点を指示
 - ①個人でシートを記入する時間について
※めやす：1分～2分（受講者の様子を見て調整してください）
 - ②話し合いの人数やペアリングについて
※めやす：2人～4人
※若手どうし、若手とベテラン、学年部、ランダムに等
（実態に合わせて調整してください）
 - ③話し合う時間について
※めやす：2分～（受講者の様子を見て調整してください）
- 話し合いが終わったところで、ビデオファイル一時停止解除

では、これから、この場面での応答の例を3つの動画でごらんいただきます。



<動画再生>
石見銀人担任 その1
(約13秒)

動画再生 (約13秒)



<動画再生>
石見銀人担任 その2
(約9秒)

動画再生 (約9秒)



<動画再生>
石見銀人担任 その3
(約20秒)

動画再生 (約20秒)

2 基本姿勢その2 相手の思いを感じ取る

<場面B>

P T Aのあいさつ運動の当番日に、担任している石見銀人さんのお父さんとたまたま一緒になった。当番活動を終えたあと、銀人さんのお父さんの方から、話しかけられた。

○銀人さんの父親にまずどんな言葉を返しますか。

いかがでしたか。

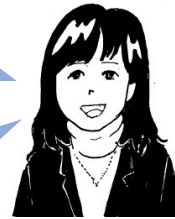
では、この3つの応答の違いについて、振り返ってみましょう。



昨夜の出来事
今朝の様子

宿題の取りかかりが遅くなる
のはどうしてなのでしょうね

宿題は学校でさせますので
大丈夫です



子どもの様子や事柄に
焦点を当てた応答

最初の動画では、昨夜の出来事や今朝の子どもの様子を語る父親に対して、担任は「宿題ができていない」という子どもの様子や事柄に焦点を当てた応答をしていました。

解決策を示したり、相手を安心させたりせねばとの思いから、このような応答をしていますが、目の前の相手の「思い」の方には、意識を向けることができていないといえます。



昨夜の出来事
今朝の様子

ゆうべは我慢の限界
だったんですね



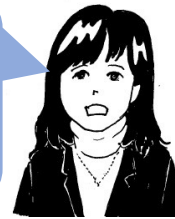
父親の昨夜の思いに
焦点を当てた応答

2つ目の動画では、「ゆうべは我慢の限界だったんですね」と、父親が「昨夜」感じていた思いに焦点を当てた応答をしていました。



昨夜の出来事
今朝の様子

今朝の様子がそんな
感じだと…いろんなこと
思われますね



父親の今の思いに
焦点を当てた応答

3つ目の動画では、「今朝の様子がそんな感じだと・・・いろんなこと思われますね」と、父親の「今の思い」に焦点を当てた応答をしていました。

2 基本姿勢その2 相手の思いを感じ取る

目の前の相手の
過去の思い

目の前の相手の
今の思い

- ・相手が**今抱えている葛藤**に目を向ける
- ・自分の**今の気持ち**を整理する

2本目と3本目の動画は、どちらも「父親の思い」に焦点を当てた声かけでした。

けれども、目の前の相手の「いつの思いに焦点を当てているか」という点が異なっているため、言葉かけの中身に違いがありました。

聞き手が相手の「過去の思い」に目を向けた言葉を返していくと、話し手はそこに意識を向けることとなりますので、場合によっては、相手を過去の心の状態に戻してしまうことも起こり得ます。

それに対して、「今の思い」の方に焦点をあてた言葉かけをしていくと、相手は、自分が「今抱えている葛藤」に目を向け、自分の気持ちを少しずつ整理していくことになるでしょう。

そのようなかわりをしていくことで、保護者の方は、少し落ち着いて出来事を見つめたり、前向きな気持ちが持てるようになってくるのではないのでしょうか。

2 基本姿勢その2 相手の思いを感じ取る



丁寧にやりとりをしていく中では、過去の気持ちに目を向ける場面も出てくるでしょうし、子どもの学校での様子や、宿題をどうしたら早めになるかといった、事柄への対応の話も必要な内容です。

いずれはそれらにも焦点を当てる必要は出てきますが、まず最初には、「目の前の相手の今の気持ち」を感じ取ることを意識しながら、関わりを始めてみてはどうでしょうか。

では、次の場面の動画を見てみましょう。

2 基本姿勢その2 相手の思いを感じ取る

<場面C>

担任している江津波子さんのお母さんから、「相談したいことがある」といって電話がかかってきた。

○波子さんの母親にまずどんな言葉を返しますか

<場面C>

担任している江津波子さんのお母さんから、「相談したいことがある」といって、電話がかかってきました。

では、動画をご覧ください。



<動画再生>
江津波子母親
(約30秒)

動画再生 (約30秒)

2 基本姿勢その2 相手の思いを感じ取る

<場面C>

担任し
「相談
きた。



スライドは
一旦停止を

、
かって

○波子さ



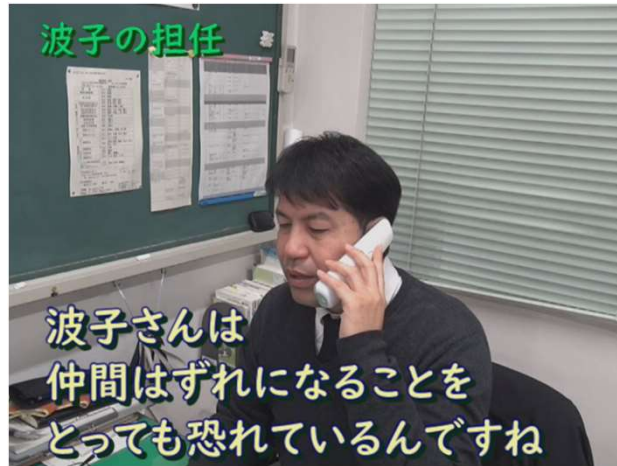
では、この場面で、波子さんの母親に、どんな言葉を返すかを先ほどと同じように考えてみましょう。

※停止マークが表示されたら、PCでビデオファイルの一時停止操作を

【研修担当者】

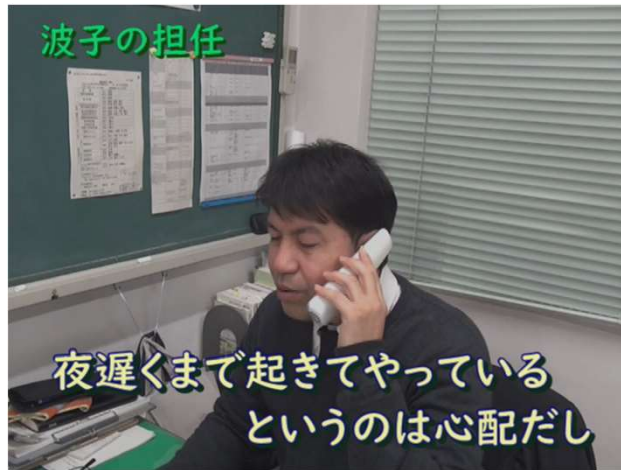
- ビデオファイル一時停止操作し、受講者へ以下の3点を指示
 - ①個人でシートを記入する時間について
※めやす：1分～2分（受講者の様子を見て調整してください）
 - ②話し合いの人数やペアリングについて
※めやす：2人～4人
※若手どうし、若手とベテラン、学年部、ランダムに 等
（実態に合わせて調整してください）
 - ③話し合う時間について
※めやす：2分～（受講者の様子を見て調整してください）
- 話し合いが終わったところで、ビデオファイル一時停止解除

では、これから、この場面での応答の例を2つの動画でごらんいただきます。



<動画再生>
江津波子担任 その1
(約7秒)

動画再生 (約7秒)



<動画再生>
江津波子担任 その2
(約18秒)

動画再生 (約18秒)

2 基本姿勢その2 相手の思いを感じ取る

<場面C>

担任している江津波子さんのお母さんから、
「相談したいことがある」といって電話がかかってきた。

○波子さんの母親にまずどんな言葉を返しますか

いかがでしたか。

では、この2つの応答の違いについて、振り返ってみましょう。



相談したいことがある
夜遅くまでSNSをやっ
ている我が子の様子

波子さんは仲間はずれに
なることをとっても恐れて
いるんですね



子どもの思いに
焦点を当てた応答

最初の動画では、夜遅くまでSNSをやっている子どもの様子を心配して話す母親に対して、「波子さんは仲間外れになることをとっても恐れているんですね」と、子どもの思いに焦点を当てた応答をしていました。



相談したいことがある
夜遅くまでSNSをやっ
ている我が子の様子

心配だし止めさせたいけど、
波子さんの立場を考えると
お母さんの気持ちは複雑
ですね



母親の思いに
焦点を当てた応答

それに対して2つ目の動画では、「心配だしやめさせたいけど、波子さんの立場を考えるとお母さんの気持ちは複雑ですね」と、母親の思いの方に焦点を当てた応答をしていました。

2 基本姿勢その2 相手の思いを感じ取る



保護者の方と、私たち学校は、真ん中に子どもを置き、「子どもの成長や幸せ」という共通の願いをもちながら、手を携え日々かかわりを深めています。

ですから、このケースのように保護者の方から子どもについての相談があったときには、

「子どもが今どんな思いをしているか」を想像し、そこに焦点をあてた声かけをしていくことはとても大切なことです。

保護者にとって、我が子の気持ちを「担任が分かろうとしてくれている」と感じられることは、担任に対する信頼感や安心感につながるものです。

そのような感覚は、課題解決や、一緒に前向きな話をしていくための大切な素地となっていくでしょう。

2 基本姿勢その2 相手の思いを感じ取る

子ども
の思い

目の前の
相手の思い

Hint
“誰の思い”に焦点を当てるか

島根県教育センター 『保護者と学校のよりよい関係づくり』

33

そんな、子どもの思いを大切にされたかわりに加え、もう一つ大切にもっておくとよい視点があります。

それは、今、話をしている目の前の相手である、「母親自身の思い」にも目を向け、声かけをしていく、という視点です。

子どもの様子を心配し、悩んでいる母親自身が、今どんな思いをしているかも含めて、こちらが「わかろうとしている」ことが伝われば、保護者は子どものことも、自分自身のことも「大切にしてもらえた」と感じられるのではないのでしょうか。



人は誰でも、
「分かってもらえた」
「大切にしてもらえた」という感覚をもつことができると、
心が安定したり、意欲やエネルギーが高まったりするものです。

そして、そのことによって、自分自身の力で考えたり、決めたり、課題解決に向けての行動を起こしたりすることができる、そのような存在ではないでしょうか。

解決策を
示さなければ

何か答えなければ



事柄や子どもについての
話を**優先しがち**

保護者からの問いかけや問題提起があったときに、私たちは、
「解決策を示さなければ」
「何か答えなければ」
そんな思いを抱いてしまい、言われた事柄や子どもについての話を優先しがちです。

「保護者の今の思い」を しっかり受け止めながらかかわる



保護者自身が考え、行動していく
ことを支えることに

島根県教育センター 『保護者と学校のよりよい関係づくり』

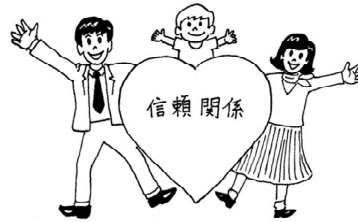
36

けれどもまずは、保護者の「今の思い」をしっかり「受け止める」というかわりを、意識し大切にしていくと、私たちが解決策を示さなくとも、保護者自身が、自分の力でどうしたらよいかを考え、行動していかれるということもあるようです。

このような意識ももちながら、関わりを深めていきたいものですね。

2 基本姿勢その2 相手の思いを感じ取る

目の前の相手の今の思いにも
目を向けながら



保護者はパートナー

「一緒に」 育てる 支える 悩む 見守る 喜ぶ

相手の思いを感じ取ろうとする姿勢を私たちが持っていることで、保護者との関係はよりよいものになっていきます。

ひいては、それが子どもたちの成長や幸せを支えることに繋がっていくでしょう。

以上で、信頼関係づくりの基本姿勢その2「相手の思いを感じ取る」を終わります。